

CS相中通信

令和4年度
第1号
令和4年5月31日

地域を学ぶ 地域から学ぶ



学年行事が行われ、3年生が修学旅行に行っている3日間、1,2年生は防災体験学習と職場体験学習を実施しました。地域を学び、地域から学ぶ機会としてとても重要なものとなりました。先日行われた第1回学校運営協議会においても、地域について学ぶとともに、地域に発信し貢献していくという話題が出ましたが、今回の1,2年の学年行事は、まさにそのような学習の機会となりました。

防災学習は命にかかわる学習としても重要です。この地域では、南海トラフ地震が迫っているといわれています。また海に面した地域とあって、地震による災害とともに、津波による災害が発生することも危惧されています。地域の特性を知り、市の災害対策について学んでおくことで、いざというときの対応ができると考えられ、そうしたことを学んだ3日間でした。牧之原市の危機管理課、相良区防災担当、浜岡原子力発電所の方々、災害救助犬訓練士さんなど、地域の防災スペシャリストの御支援をいただいて、地域に学ぶ充実の3日間を過ごすことができました。

2年生は、ここ2年間コロナの影響で実施できなかった職場体験を市内各事業所において実施することができました。この学習は、自分を見つめ、未来を展望する貴重な体験ですから実施できたことはとても大きな意義があります。各事業所を回った学年部の先生方が撮影した写真などからは生き生きと体験活動をしている生徒の姿が見られました。それらの写真を見ると、この地域にもいろいろな仕事があると感じます。学校でも調べ学習を行い、いろいろな職業について学びますが、体験となるとそれとは全く違った学びができることを思い知らされます。こちらでも地域に学ぶ大変貴重な機会となりました。



※ CS=コミュニティー・スクールとして地域に開かれた学校、地域と一体となった学校教育を目指します。